

第2章

被害概要



電柱が倒れ、建物がつぶれた穂保（長沼地区）の宅地（令和元年10月15日09時02分、信濃毎日新聞社提供）

被害概要

令和元年東日本台風による大雨の影響を受けて、千曲川流域で護岸の崩落や堤防の欠損・越水などによる浸水被害が発生した。長野市内では、長沼、豊野、古里、篠ノ井、松代、若穂地区の被害が大きく、穂保地先(長沼地区)では千曲川の堤防が決壊し、支所や学校、医療施設や社会福祉施設、長野新幹線車両センターなど一帯に深刻な浸水被害をもたらした。このほか、各地で道路の損壊、立木倒木による停電、土砂崩落なども発生。これらにより、ライフライン、交通機関、公共施設・教育施設などの都市基盤、農業、商工業など甚大な被害を受けた。

被害額は、長野県全体で2,766億7,400万円(令和2年9月18日時点)、長野市は1,108億9,000万円(令和2年3月19日時点)に上る。

長野市位置図及び主な被害地区概況

●浸水面積

- 浸水域 計 約1,541ha
- 長沼・豊野・古里地区 934ha
- 篠ノ井地区 371ha
- 松代地区 156ha
- 若穂地区 80ha

●浸水深

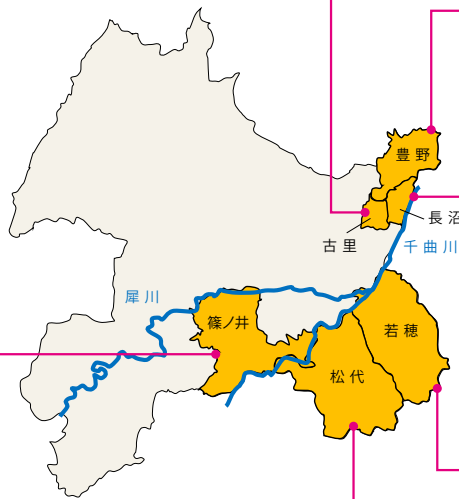
最大約4.3m(推定値)



古里地区下駒沢・金箱



豊野地区豊野



長沼地区穂保



篠ノ井地区小森



松代地区東寺尾



若穂地区高岡

人的被害 (令和3年3月31日時点)

死者 15人 (災害関連死13人を含む)

重症 2人 軽傷 92人

令和元年東日本台風に関する被害額 (長野県:令和2年9月18日時点/長野市:令和2年3月19日時点)

※算出時点等の違いにより、各項に記載する発生数、被害額と異なる場合がある

被害総額	長野県	276,674百万円
	長野市	110,890百万円

被害の別	発生数		単位	被害額 (百万円)		摘要 (長野市分) ()の数字のうち単位のないものは被害額:単位百万円	
	長野県	うち 長野市分		長野県	うち 長野市分		
計	-	-	-	66,928	20,248		
農業関係	農作物・樹体被害	2,062	448	ha	1,925	※1 974	
	生産施設等	1,219	547	箇所	8,575	※2 6,415	
	農地・農業用施設	10,365	1,430	箇所	56,168	※2 12,859	排水機場 (7箇所、4,965)、その他農業施設 (281箇所) 及び農地申請数 (1,142箇所、7,894)
	農業集落排水施設等	12	0	箇所	260	0	
林業関係	計	1,818	21	箇所	4,685	342	
	治山	88	4	箇所	2,310	※2 190	(長野県事業)
	林道	1,730	17	箇所	2,375	※2 152	高岡山新田線、笹平線、妙徳線 ほか
公共土木施設	計	1,298	406	箇所	70,861	1,434	
	河川	803	58	箇所	51,331	※2 638	高岡川、唐沢川、銅山川 ほか
	砂防	47	0	箇所	2,198	0	
	道路	448	348	箇所	17,332	※2 796	長沼87号線、豊野229号線 ほか
都市施設	計	75	39	-	40,433	2,845	
	下水道	55	13	箇所	38,138	※2 2,681	雨水ポンプ場 (1,617)、マンホールポンプ場 (28)、松代真空ステーション (31)、東部浄化センター (1,003) ほか
	公園	20	26	箇所	2,295	※2 164	長沼公園、赤沼公園 ほか
商工業関係	925	476	件	81,744	※1 71,240	商業分野311件 (36,324)、工業分野165件 (34,916)	

被害の別	発生数		単位	被害額(百万円)		摘要(長野市分) ()の数字のうち単位のないものは被害額:単位百万円
	長野県	うち 長野市分		長野県	うち 長野市分	
学校施設	173	7	校	1,281	※2 1,042	長沼小学校(322)、豊野中学校(537)、東北中学校(109)、松代中学校(73) ほか
計	83	28	施設	2,245	1,350	
学校以外の 教育施設等		(2)			(※3 222)	長沼支所(22)、豊野支所(200)
		(2)			(※2 22)	豊野人権同和教育集会所(15)、 浅野人権同和教育集会所(7)
		(18)			(※2 844)	千曲川リバーフロントスポー ツガーデン(320)、豊野体育館 (96) ほか
		(1)			(※2 49)	豊野保健センター
		(5)			(※2 213)	長沼交流センター(151)、豊野 公民館(31) ほか
計	133	12	施設	5,170	1,137	
社会福祉 施設		(5)			(※2 689)	松代花の丸児童センター(15)、 長沼児童センター(120)、長沼・ 豊野みなみ・西部保育園
		(7)			(※2 448)	八雲日和うどん・おやき工房さ くら、豊野老人福祉センター ほか
医療施設	18	14	施設	1,366	※4 1,716	医療機関6施設、薬局8施設
自然公園	23	-	箇所	123	-	
上水道	9	1	事業 体	382	※2 311	西沖浄水場(230)、笹平-山内 導水管(55) ほか
浄化槽	5	-	基	2	-	
廃棄物処理施設	8	-	箇所	47	-	
公営住宅	1,032	310	戸	1,258	※2 955	市営住宅(美濃和田団地、沖団 地、昭和団地)
県有施設	41	-	箇所	149	-	県庁舎含む
住宅被害	-	751,800	m ²	-	※5 8,270	

※1 事業者等からの聞き取りにより確認

※2 災害復旧事業に係る算出額(災害査定額、予算額、見積額、契約額、支出見込額、支出済額など)

※3 建物台帳の再調査額から算定

※4 医療機関等への聞き取り、長野県補助金申請書により確認

※5 「公共土木施設災害復旧事業査定方針(最終改正平成23年8月5日)建設省河川局長通知」での単位面積当たり被害額11,000円/m²により算定

住家等の被害

長野市内では、千曲川の堤防決壊による浸水被害が甚大だった長沼、豊野地区で住家の全壊被害が1,000件以上発生した。長野県内全体では、千曲市、上田市、佐久市、飯山市、須坂市など千曲川流域を中心に、住家だけでも8,300棟以上が損壊被害を受けた。

住家被害の状況

住家（現実に居住のため使用している建物）被害の状況は、次のとおり。（※り災証明書交付件数に基づく）

（単位：件）（令和3年3月31日時点）

		長沼	豊野	古里	篠ノ井	松代	若穂	総計
全壊		561	477	0	0	0	0	1,038
大規模半壊		82	183	35	34	48	1	383
半壊		233	169	55	662	301	8	1,428
一部損壊		63	212	92	835	224	21	1,447
計		939	1,041	182	1,531	573	30	4,296
参考	床上浸水	887	979	95	898	350	7	3,216
	床下浸水	52	60	87	631	217	18	1,065
	浸水以外	0	2	0	2	6	5	15

※「浸水以外」は、令和元年東日本台風による風や土砂等の浸水以外の被害によるもの

※上記6地区以外に、三輪地区、柳原地区、芋井地区等に半壊1、一部損壊27（床上浸水1、床下浸水3、浸水以外24）あり

非住家被害の状況

非住家（住家以外の建物）のうち、市公共施設（建築物）の被害状況は、次のとおり。

（令和元年11月25日時点）

区 分	施 設 数
全壊（流出）	5施設
半 壊	1施設
一部破損	22施設
床上浸水	41施設
床下浸水	9施設
そ の 他	12施設
合 計	90施設

※上下水道局関係除く

公共施設の被害

河川被害

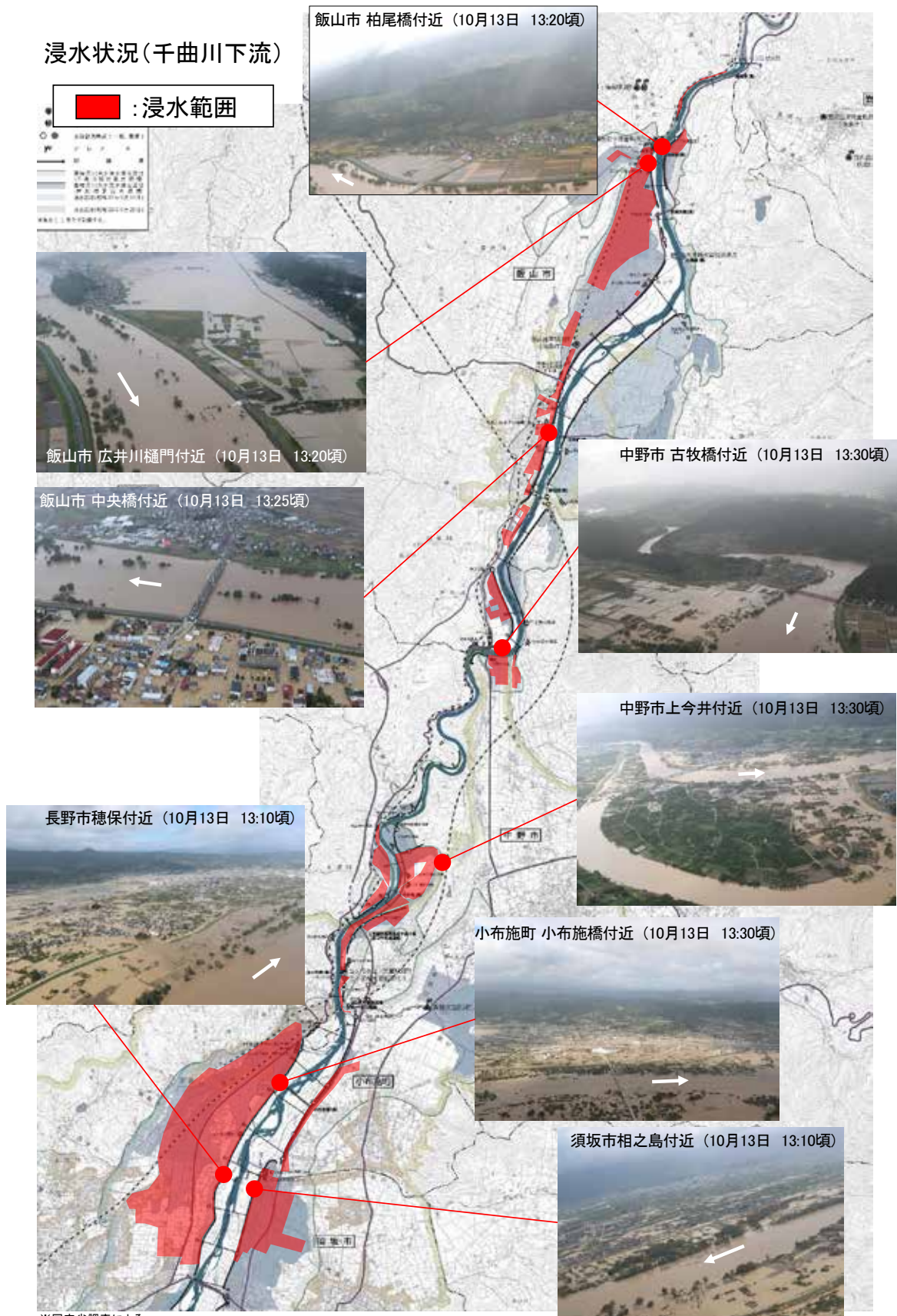
令和元年東日本台風による大雨の影響で、千曲川沿いでは、上流の佐久市、上田市、千曲市から下流の中野市、飯山市まで広範囲にわたって護岸の崩落や堤防の欠損・越水などによる浸水被害が発生した。長野県内の国・県管轄河川における堤防決壊は7箇所、越水・いつ水は32箇所、河川管理施設の被害は1,007箇所にあつた(出典:国土交通省北陸地方整備局)。

長野市では、北部の長沼、豊野、古里地区、南部の篠ノ井、松代、若穂地区を中心に、令和元年10月12日(土)夜間～13日(日)未明にかけて、千曲川堤防の決壊や越水、その他河川や用水等の内水氾濫などによる浸水被害が発生。長野市穂保地先(千曲川左岸57.5k付近、長沼地区)では、約70mにわたり堤防が決壊し、甚大な被害をもたらした。

令和元年東日本台風における主な河川被害(長野市関連) (令和元年11月1日時点、出典:長野県建設部河川課)

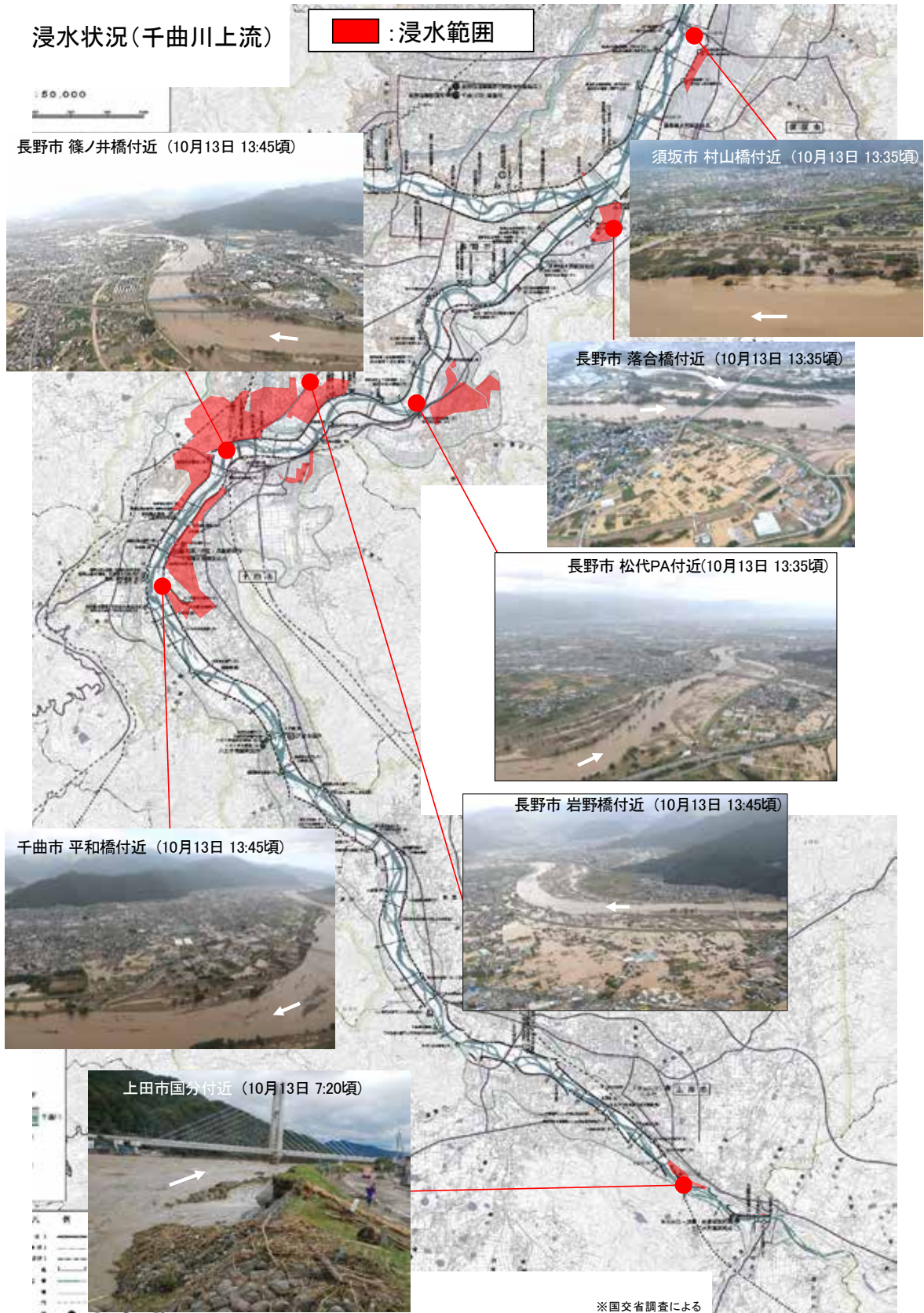
河川名	地点	被害の状況
千曲川	篠ノ井塩崎庄ノ宮	堤防越水(10月12日21:27)
千曲川	篠ノ井横田	堤防越水(10月12日20:23)
千曲川	篠ノ井小森	堤防越水(10月12日22:15)
千曲川	松代町柴	堤防越水(10月12日23:18)
千曲川	穂保	堤防決壊(10月13日01:08越水その後決壊:06:00発表)
岡田川	上篠ノ井	堤防越水、護岸崩落(樋門閉門に伴い、10月12日23:00越水)
赤野田川	牛島	堤防越水(樋門閉門に伴い、10月12日23:00越水)
蛭川	寺尾	堤防越水(樋門閉門に伴い、10月12日21:00越水)
浅川		堤防越水
三念沢	三念沢排水機場上	堤防決壊(耕地浸水)

千曲川の被害状況 (出典:国土交通省北陸地方整備局)



(千曲川河川事務所提供)

千曲川の被害状況 (出典:国土交通省北陸地方整備局)



(千曲川河川事務所提供)

道路被害

長野県全域で冠水や倒木、法面崩落や土砂流出などによる各地の道路被害も大きかった。長野県管理道路における台風による規制は、事前規制も含めて120路線191区間に上る(出典:長野県 暮らし・生業再建本部会議資料)。

長野市内では、浸水の影響で、豊野、篠ノ井、松代、若穂を中心に令和元年10月12日(土)夜間～13日(日)未明にかけて路面冠水などの被害が発生した。また、芋井や大岡、中条などの山間部では法面崩落や倒木被害もあり、若穂保科では、生活道路がふさがれて山間の9世帯12人が一時孤立した。市道では、長沼87号線、豊野229号線、聖川堤防線、若穂東455号線ほか348箇所、被害額は7億9,600万円に及び、林道被害は、路面洗掘・路肩決壊など市内17箇所、被害額は1億5,200万円に上った。

令和元年東日本台風による主な規制路線等箇所(出典:長野県道路管理課)(令和元年10月15日14:00時点)

路線番号	箇所	被害状況	規制開始日時	規制延長(km)	解除日時等
(国)403号	松代町東寺尾～松代町柴	路面冠水	10月13日 05:00	3.3	10月14日 11:30
(国)403号	長野市千曲市境～千曲市上信越道アンダー	冠水	10月12日 23:30	0.8	10月13日 05:45
(国)403号	若穂川田～若穂綿内	路面冠水	10月13日 00:30	1.4	10月13日 07:00
(国)406号	白馬村境～長野市鬼無里	事前通行規制	10月12日 19:00	12.0	10月13日 09:00
(主)豊野南志賀公園線	豊野(国道18号交点)～小布施町山王島(アンダーパス西)	路面冠水	10月13日 01:00	2.4	
(主)豊野南志賀公園線	豊野町浅野～豊野町浅野	冠水のおそれ	10月13日 00:30	0.4	10月14日 11:30
(主)長野真田線	篠ノ井西寺尾(赤川交差点)～松代町松代(荒神町交差点)	路面冠水	10月13日 00:30	2.4	10月13日 17:00
(主)長野信州新線	篠ノ井石川～篠ノ井御幣川	路面冠水	10月12日 22:00	3.4	10月14日 11:30
(主)長野上田線	篠ノ井塩崎～篠ノ井塩崎	路面冠水	10月12日 21:00	1.7	10月14日 11:30
(主)長野上田線	篠ノ井御幣川～篠ノ井塩崎	路面冠水	10月12日 21:00	1.2	10月14日 11:30
(主)長野上田線	篠ノ井塩崎～篠ノ井塩崎	路面冠水	10月12日 21:00	1.4	10月14日 11:30
(主)長野菅平線	若穂保科～上田市真田町境	道路崩壊	10月12日 14:00	6.9	
(主)長野菅平線	若穂牛島～若穂川田	路面冠水	10月13日 00:30	2.6	10月13日 07:00
(一)清野篠ノ井(停)線	松代町岩野～篠ノ井御幣川	冠水のおそれ	10月12日 21:00	1.4	10月13日 07:00
(一)松代篠ノ井線	松代町岩野～篠ノ井小森	冠水のおそれ	10月12日 21:00	2.6	10月13日 07:00
(一)中村金井山(停)線	小島田町～松代町柴	冠水のおそれ	10月12日 21:00	1.0	10月13日 07:00

路線番号	箇所	被害状況	規制開始日時	規制延長 (km)	解除日時等
(一) 川合川中島線	小島田町～真島町真島	冠水のおそれ	10月12日 21:00	2.9	10月13日 07:00
(一) 関崎川中島(停)線	松代町大室～真島町真島	冠水のおそれ	10月12日 21:00	1.5	10月13日 07:00
(一) 関崎川中島(停)線	真島町真島～真島町真島	路面冠水	10月12日 16:00	0.2	10月13日 07:00
(一) 小川長野線	中条御山里～中条御山里	法面崩落	10月12日 18:00	0.2	
(一) 川口田野口篠ノ井線	大岡国道19号交点～大岡丸子信州新線交点	法面崩落	10月12日 20:00	6.2	10月13日 17:00
(一) 長野豊野線	西三才(西三才交差点)～豊野町石(市道吉石線)	路面冠水	10月13日 13:30	3.3	10月14日 11:30
(一) 村山豊野(停)線	大字村山～大字赤沼(国道18号交点)	路面冠水	10月13日 01:00	5.5	
(一) 飯綱高原芋井線	大字上ヶ屋～大字上ヶ屋	倒木	10月13日 05:00	2.9	
(主) 長野戸隠線	大字茂菅～大字桜	倒木	10月13日 05:00	4.3	
(国) 19号	柳原北交差点～浅野交差点		10月13日 02:45		

〈凡例〉(国)：国道、(主)：主要地方道、(一)：一般県道、(停)：停車場

被害の状況



国道18号(アップルライン)大町交差点付近



長野インターチェンジ付近(県道35号線)



長野インターチェンジ付近



路面の陥没(若穂保科)

公園

千曲川の堤防決壊による浸水被害を受けた長沼公園、赤沼公園ほか26箇所、被害額は1億6,400万円に及んだ。

被害の状況



公園施設の浸水被害（被災直後の赤沼公園）



災害廃棄物仮置場としても機能（赤沼公園）

支所

支所は、長沼支所、豊野支所の2施設が浸水し、被害金額は2億2,200万円となった。決壊した千曲川堤防に程近い長沼支所では、平屋建ての屋根下（約3m高）まで水没し、全壊となった。豊野支所は、床上浸水となり、執務スペースである1階フロアが水没した。

被害の状況



長沼支所正面出入口（令和元年10月15日）



長沼支所事務室（令和元年10月16日）



豊野支所正面出入口（令和元年10月15日）



豊野支所1階事務室（令和元年10月13日）

ライフラインの被害

電気

配電設備の浸水や高圧線断線などにより、長野市内では最大で延べ約19,690戸数が停電被害を受けた。長野県全体の停電戸数は、最大約63,500戸に達した（ピーク時令和元年10月13日（日）02:00）。

長野市における停電の概要（出典：中部電力）

停電戸数(延べ)	発生日時	全送日時	主な停電地域	主な停電理由
約19,690	令和元年 10月12日 14:18	令和元年 10月19日 11:27	浅川、上松、小鍋、門沢、 上ヶ屋、戸隠、若穂、 豊野、赤沼、穂保、鬼無里、 西裾花等	・河川堤防決壊による 配電設備の浸水 ・倒木による高圧線断線 ・土砂崩れによる電柱折損

通信

浸水被害や停電により、NTT東日本の固定電話、携帯電話3社全てで回線障害が発生するなど、長野県内全域に影響が及んだ。インターネットサービス、放送（CATV）でも浸水や停電被害を受けるなどした。

主な通信被害状況（出典：信越総合通信局）（令和元年10月13日18:30時点）

【通信関係（電気通信事業課）】

区分	事業者	被害状況等
固定電話	NTT東日本	令和元年10月13日10:17時点 電話サービス支障 ・アナログ加入電話:1,600回線（全NTT東日本管内） ・ひかりIP電話:約3,100回線（全NTT東日本管内）
	ドコモ	令和元年10月13日10:15時点 長野県154局停波
携帯電話	KDDI	令和元年10月13日09:53時点 長野県103局（回線障害13、停電87、調査中3）停波
	ソフトバンク	令和元年10月13日10:13時点 長野県207（調査中）
	NTT東日本	令和元年10月13日10:17時点 インターネットサービス ・光アクセスサービス:約4,200回線（全NTT東日本管内）
インターネット	NTTCOM	令和元年10月13日09:23時点 被害なし

区分	事業者	被害状況等
インターネット	UQ	令和元年10月13日09:31時点 長野県32局
	地域系CATV インターネット 事業者	令和元年10月13日13:00時点 ・中部テレコミュニケーション 長野市 移動体基地局向け回線1回線障害 ・INC長野ケーブルテレビ 若穂綿内(停電) ・長野市 長沼・豊野地区(浸水被害) 柳原・戸隠・鬼無里地区(一部停電) など

【放送関係】

区分	事業者	被害状況等
CATV	長野市	戸隠・鬼無里地区 停電による停波(約1,000軒)

水道

上水道では、浄水場の停電や導水管の被害などにより、31億1,000万円の被害が発生した。長野県内では、東信地方を中心に公営水道で最大4,848戸、民営水道で8事業257戸数が断水(令和元年10月24日(木)10時00分時点、県環境部大気環境課)。長野市内では、戸隠で12世帯、若穂保科で2世帯の断水が発生した。

下水道では、県施設の終末処理場「クリーンピア千曲」(長野市赤沼)が穂保地先(長沼地区)の堤防決壊により冠水。施設・設備が被害を受け処理機能が停止し、汚水の受入れができなくなり、利用する長野市、須坂市、小布施町、高山村の約14万3,000人に影響した。このほか長野市内下水道施設では、雨水ポンプ場、東部浄化センターほか13箇所、26億8,100万円の被害が発生した。

長野市内の上下水道被害

種別	被害状況等
上水道	14世帯が断水(若穂保科:浄水場停電のため2世帯、戸隠:倒木停電のため12世帯)(令和元年10月12日時点)
下水道	・クリーンピア千曲(県)汚水の受入停止、浄化処理機能の停止(長野市内約35,740世帯に影響) ・松代温泉団地真空式下水道機能停止(297世帯に影響) ・下水道管破損(長沼地区)

ガス

千曲川氾濫の影響により、令和元年10月13日(日)、豊野地区でガス設備に被害が発生。二次災害を防止するため、ガス供給が停止した(令和元年10月22日(火)11時40分全戸で供給再開)。

都市ガスの被害状況 (出典:長野県産業労働部ものづくり振興課) (令和元年10月13日18時時点)

ガス会社	供給等の状況
長野都市ガス(株)	ガス供給停止(長野市豊野地籍約900戸)
上田ガス(株)	ガス供給停止なし(全供給戸数:3万戸)
松本ガス	ガス供給停止なし(全供給戸数:2万4,000戸)
大町ガス(株)	ガス供給停止なし(全供給戸数:1,550戸)
諏訪ガス	ガス供給停止なし(全供給戸数:1万9,000戸)
信州ガス(飯田)	ガス供給停止なし(全供給戸数:3,000戸)

公共交通機関の被害

千曲川流域の長野市、上田市を中心に鉄道会社の被害が大きく、運休や本数削減を余儀なくされたほか、一部区間では代行バス運行など対応に迫られた。

鉄道の主な被害状況（長野市関連）（出典：長野県災害対策本部 鉄道等の運行状況について）

鉄道会社	路線	被害状況等
JR東日本	北陸新幹線	<ul style="list-style-type: none"> 長野新幹線車両センター浸水（E7系新幹線8編成廃車 ほか） 本線の電気設備等冠水 令和元年10月13日始発から運転見合わせ
	信越本線	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月13日始発から運転見合わせ
	飯山線	<ul style="list-style-type: none"> 北飯山～信濃平間で道床流出、路盤陥没 替佐～蓮間で線路内に土砂流入 立ヶ花～上今井間で踏切設備水没、路盤流出 令和元年10月13日始発から運転見合わせ
	篠ノ井線	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月13日始発から運転見合わせ
しなの鉄道	北しなの線	<ul style="list-style-type: none"> 線路や電力設備が冠水 令和元年10月13日始発から終日運転見合わせ
長野電鉄		<ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月13日始発から終日運転見合わせ

JR東日本

長野新幹線車両センターの浸水、飯山線の路盤陥没・流出や線路内土砂流入など甚大な被害を受け、鉄道の運休などによる減収の影響もあり、令和元年東日本台風の影響に関連して特別損失は285億円（令和2年3月期）に上った。

しなの鉄道、長野電鉄

しなの鉄道は、北しなの線三才～豊野間の線路が冠水、豊野駅近くの変電所の故障被害を受けるなど、設備被害や運休に伴う減収等で令和元年東日本台風による損失額が3億2,000万円（令和元年11月27日発表）に上った。しなの鉄道線は、線路上にかかる海野宿橋の崩落危険性のため、上田～田中間で運休、バスと新幹線で代替輸送を行った。

長野電鉄では、河川氾濫のおそれがあるため令和元年10月13日始発から運転を見合わせた。



冠水したしなの鉄道北しなの線三才～豊野駅間の線路（令和元年10月13日14時50分、信濃毎日新聞社提供）

医療・福祉施設の被害

医療施設

千曲川の堤防決壊により建物1階が水没した賛育会クリニック(旧豊野病院)ほか、長野市内では計14の医療施設(医療機関6施設、薬局8施設)で被害が発生した。長野市内の県有施設、総合リハビリテーションセンター(下駒沢)も床上浸水の被害を受け、被災時の入院患者・入所者約60名を他の医療病院へ転院させるなどして対応した。

被害状況(出典:長野県健康福祉部)

	長野県	うち長野市分
病院、診療所、歯科診療所	計17施設 床上浸水 11 床下浸水等 6	計6施設 床上浸水 5 床下浸水等 1

【県有施設】

総合リハビリテーションセンター(長野市下駒沢)	病棟、施設棟等の1階が床上浸水し、受変電設備、ボイラー、機械設備、多数の医療機器等が浸水により故障
-------------------------	---

児童福祉施設

長野県内で保育所計5施設、子育て支援センター・放課後児童クラブ計4施設が床上又は床下浸水を受けた。うち長野市内では、長沼保育園・豊野みなみ保育園・西部保育園、松代花の丸児童センターと長沼児童センターの計5施設が被害を受けた。

被害状況(出典:長野県健康福祉部)

	長野県	うち長野市分
保育所	計5施設 ※軽微な損壊除く 床上浸水 4 床下浸水 1	計3施設 床上浸水 2 床下浸水 1
子育て支援センター、放課後児童クラブ	計4施設 ※軽微な損壊除く 床上浸水 4	計2施設 床上浸水 2

障がい者関係施設

長野県内のグループホーム・通所施設、計13施設が床上又は床下浸水の被害を受けた。長野市内では、県有施設の障がい者福祉センター・サンアップル(下駒沢)ほか、八雲日和うどん・おやき工房さくら(豊野町豊野)など9施設が床上浸水などの被害を受けた。

被害状況(出典:長野県健康福祉部)

	長野県	うち長野市分
グループホーム、通所施設	計13施設 床上浸水 8 床下浸水 5	計9施設 床上浸水 4 床下浸水 5

【県有施設】

障がい者福祉センター(サンアップル) (長野市下駒沢)	屋外施設(陸上競技場・テニスコート等)が浸水、屋内施設(体育館、ホール棟)は1階が床上浸水し、機械設備や備品の一部が浸水により故障
--------------------------------	---

高齢者関係施設

長野県内33施設で床上又は床下浸水被害、27施設で軽微な損壊を認めた。長野市内では、特別養護老人ホーム博仁会桜荘社会福祉総合施設、介護老人保健施設桜ホーム(篠ノ井二ツ柳)で建物1階が浸水し、上階へ避難。介護医療院とよの、特別養護老人ホーム豊野清風園(豊野町豊野)の2施設でも建物1階が水没し、入所者・職員300名以上が上階に避難。特別養護老人ホームりんごの郷(穂保)では、長野県が自衛隊・消防に救助要請の上、入所者を他の特別養護老人ホームに避難させた。

被害状況(出典:長野県健康福祉部)

	長野県	うち長野市分
高齢者施設	計33施設 ※軽微な損壊除く 床上浸水 28施設 (うち利用者向け施設21) 床下浸水 5施設	計13施設 床上浸水 12施設 床下浸水 1施設



浸水した高齢者施設(穂保)

農林産業の被害

長野市内では、千曲川の堤防決壊や流域の越水など浸水被害により、りんご・長芋などの農作物や樹体被害、農地への土砂堆積など、農業関係の被害は甚大であった。

主な農業被害の状況 (出典:長野県農政部農業政策課資料より抜粋) (令和2年1月20日時点)

(単位:千円)

区分	農作物・樹体被害		生産施設・農業機械 共同利用施設			農地			農業用施設		被害金額計
	面積 (ha)	金額	(生産施設) 棟等	(生産施設) 面積(m ²)	金額	箇所	面積 (ha)	金額	箇所	金額	
長野地域	846.2	1,326,532	790	128,596	7,467,062	2,046	810.7	14,853,000	156	7,454,000	31,100,594
うち長野市	447.5	973,956	544	52,294	6,414,747	1,264	521.8	9,282,000	94	6,010,000	22,680,703
佐久地域	211.2	141,902	116	16,996	368,737	3,255	568.9	6,700,000	1,890	11,819,000	19,029,639
上田地域	135.2	38,405	125	49,150	177,566	892	58.2	891,000	780	5,088,000	6,194,971
諏訪地域	0.2	91	4	3,000	51	5	0.8	8,000	38	263,000	271,142
上伊那地域	91.1	106,543	152	50,617	48,098	9	1.2	15,000	16	47,000	216,641
南信州地域	72.3	11,399				1	0.1	1,000	3	3,000	15,399
松本地域	16.4	6,174				200	17.5	141,000	88	212,000	359,174
北アルプス地域						3	0.2	4,000	3	16,000	20,000
北信地域	689.0	294,074	5	1,907	513,436	613	164.9	4,181,000	311	2,530,000	7,518,510
県計 (15市18町21村)	2,061.6	1,925,120	1,192	250,266	8,574,950	7,024	1,622.4	26,794,000	3,285	27,432,000	64,726,070

農作物・生産施設・農業用機械等

農地の冠水や土砂流入などにより、農作物・樹体被害はりんご、桃、長芋等448ha、約9億7,400万円。浸水した長野平ライスセンター、長野平フルーツセンターなど、生産施設・農業用機械は約64億1,500万円の被害となった。

農地・農業用施設

長野県内では、上田・佐久地域で千曲川とその支流河川の頭首工など、取水施設の被害が大きかった。長野市内においては、千曲川の堤防決壊による土砂堆積など農地被害が大きく、農業用施設の被害も含め152億9,200万円に上った。

被害の状況



りんご畑の被害(長沼地区、豊野地区)



水や泥に埋もれた畑(豊野地区)



冠水した堤外地の畑(若穂地区)

商工観光業の被害

商工業

令和元年東日本台風による商工業関係の被害は、長野県内で925件817億4,400万円。うち長野市では、半数に近い476件（商業分野311件、工業分野165件）、総被害額は712億4,000万円に上った。

商工業関係の被害額（長野県:令和2年9月18日時点、長野県産業労働部／長野市:令和2年3月19日時点）

項目	発生数		被害額(百万円)	
	長野県	うち長野市分	長野県	うち長野市分
工業(第二次産業) 計		165		34,916
商業(第三次産業) 計		311		36,324
総計	925	476	81,744	71,240

観光業

長野県内では、軽井沢、小諸、白樺湖周辺、鹿教湯温泉、菅平高原など、主に東信エリアの観光地周辺で道路の通行止や停電・断水が発生し、観光客や宿泊客に影響が及んだ。

イベントの中止も相次いだ。松代地区では、令和元年10月13日開催予定であった「真田十万石まつり」が会場周辺の冠水により中止。恒例の長野えびす講煙火大会(11月23日)や、「食の合戦inながの」(11月23～24日予定)も中止となった。県内ではこのほか、「信州・松本そば祭り」(10月12～14日予定)など、台風接近に伴い事前に中止としたイベントも少なくなかった。

このほか、北陸新幹線の車両センターが浸水したJR東日本、しなの鉄道など、交通機関の被害の影響もあり、令和元年10月の長野県内宿泊キャンセル額は少なくとも20億円を超え、観光関連産業は大きな打撃を受けた。

文教施設の被害

学校施設

児童生徒及び教職員に人的被害はなかったが、多くの児童生徒が被災した。また、建物や設備が浸水や破損するなど、施設の被害も大きかった。

長野市内の公立学校では、長沼小学校、豊野中学校、東北中学校、松代中学校ほかで10億4,200万円の被害を受けた。清掃、消毒点検の上、順次授業再開したが、長期にわたる臨時休校や、他校の教室を借りて授業再開するなど児童生徒の学校生活も大きな影響を受けた。

長野県内公立学校の被害は、以下のとおり。

公立学校の建物被害状況 (参考:長野県教育委員会資料) (令和元年10月15日時点)

床上浸水 5校	長野市 4校(長沼小学校、東北中学校、豊野中学校、松代中学校) 須坂市 1校(豊洲小学校)
床下浸水 3校	長野市 2校(松代小学校、篠ノ井東中学校) 飯山市 1校(飯山小学校)
雨漏り 37校	(授業に影響なし)
施設被害 20校	ガラス破損、倒木等(授業に影響なし)

被災直後の状況



長沼小学校



豊野中学校



東北中学校



松代中学校

社会教育施設

長野県内では、図書館など52施設が床上・床下浸水、土砂堆積などの被害を受けた（令和元年11月26日時点、長野県教育政策課）。長野市内では、運動場等体育施設（千曲川リバーフロントスポーツガーデン、豊野体育館ほか）、公民館等（豊野公民館、長沼交流センターほか）が浸水被害を受けた。

決壊した千曲川堤防のすぐ近くにある長沼交流センターでは、屋根下（約3m高）まで水没。建物は半壊、外形は残ったものの、ほぼ全損状態の大きな被害であった。



堤防決壊箇所に近い長沼体育館



被災直後のりんごホールと学習室（長沼交流センター）



被災直後の図書室（長沼交流センター）

文化財

長野県内では、床上・床下浸水など文化財の被害が30件発生した（令和元年11月26日時点、長野県教育政策課）。国宝旧開智学校校舎（松本市）では、塔屋の漆喰が剥がれ落ちるなどの被害があった。

長野市内で浸水被害が大きかった地区では、寺社建造物の直接的な被害や、そうした寺社や地区、個人などが所有する歴史的資料の流出や汚損の被害があり、救出された資料は、長野市立博物館が中心となって状態保全に向けた作業が進められた。